

近畿中学生選抜優勝大会京都府ヤング予選会 試合順・審判割当

	A	B	C	D
1	①—② 審判③	⑦—⑧ △ 審判④	⑩—⑪ ※ 審判⑤	⑨—⑫ ※ 審判⑥
2	②—③ 審判①	⑥—⑧ △ 審判④	⑨—⑪ ※ 審判⑤	⑩—⑫ ※ 審判⑦
昼食休憩 20分間ボール使用不可 (Bコート男子のネットの高さに調整をする)				
3	①—③ 審判②	④—⑤ 審判⑧	⑥—⑦ △ 審判⑪	⑨—⑩ ※ 審判⑫
4	A1位—B2位 審判⑦⑧	B1位—A2位 審判⑨⑩	⑪—⑫ ※ 審判⑥	
5		A4勝—B4勝 審判A4・B4負	C1位—D1位 審判C2位・D2位	

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
1① 京都匠ヤング 2② 山王BONDS 3③ 八条クラブ	4④ SELECT京都 5⑤ Winds	1⑥ 京都Kaiser 2⑦ 京都想和 3⑧ 大井ヤング	4⑨ True One 5⑩ 大宮ヤング 6⑪ kyoto CREA 7⑫ KYOTO Winds

男子5チーム

A: 3チーム総当たり B: 2チーム戦

A1位vsB2位、A2位vsB1位で準決勝を行い、その勝者で(ゴールデンセット)決勝を行う。

女子7チーム

Cグループ3チーム△総当たり Dグループ4チーム※総当たり

Cグループ1位とDグループ1位で(ゴールデンセット)決勝を行う。

近畿中学生選抜優勝大会京都府ヤング予選会 競技上・審判上の注意事項

- 本大会は2025年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則により行う。
ただし、京都府中体連の競技規則に則る。(ネット高さは男子230cm,女子215cm、4号球使用)
- チーム構成は、部長1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名、選手12名以内とする。
ただし、選手は補欠を含め18名以内で登録を認める。試合ごとに18名の中から12名のメンバーを提出する。
エントリーに変更ある場合は、受付時に会場責任者、または係に提出すること。
近畿中学生選抜優勝大会京都府予選会は選手12名以内でトレーナーはベンチには入れない。
- ベンチには、有効に登録された構成員のみ入ることができる。スタッフは、必ずそれぞれのマークを左胸につけること。
ベンチスタッフは、統一された服装(襟付きシャツ・長ズボン)でベンチ入りすること。
マネージャーが生徒の場合はその限りではない。(選手と同じ服装でないこと)
また、鳴り物・メガホン等のベンチへの持ち込みも禁止とする。
- 公式練習中は、チーム構成員以外がフロアー及びコートに入ることを禁止する。
ただし、合同練習中については、チーム構成員以外もフロアーで隣のコートへのボールの進入を防ぐこと。
(合同5分の練習の内容はフリーとする。)
- 試合開始時間については、第一試合のみ時間設定をする。これ以降の試合については、前の試合終了から原則5分間の合同練習後、プロトコールにはいる。ただし、各チームは初めての試合だけ公式練習をするものとする。
- 試合形式は25点3セットマッチ(ジュースあり)とする。ただし、第3セットは15点とする。(ジュースあり)
- 審判は補助員を含む。男女関係なく割り当てることとする。グループ戦では単独チームが審判をするが、主審副審は大人で行い、やむを得ない場合は生徒が副審でも可とする。
- 各試合の設定時間は目安として75分とする。(合同練習5分含む)追い込みで行う。
- 男子の決勝及び女子のC・Dグループ1位同士でゴールデンセット(25点1セットマッチ・ジュースあり)の決勝戦を行う。
男子の審判はA4・B4の敗者、女子の審判はCDの2位チームで行う。
- 開始式は行う。選手は統一された服装で整列すること。表彰式及び閉会式は男女上位2チームで行う。
- 開始式後各コートで10分間のフリー練習(譲り合いながら)を行い、その後第一試合の合同5分を行い、プロトコールに入る。
- 今大会の上位2チームは、2月8日(日)の京都府予選会に出場する権利と義務を負う。
また、参加チームは2月の予選会に出場の有無に関わらず、予選会の準備・運営に協力する義務を負う。(審判役員)